

小木港

新潟県交通政策局港湾整備課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

☎025-280-5466

URL : <http://www.pref.niigata.jp/kowanseibi/>

1. 概況

小木港は、佐渡ヶ島の南端に位置する天然の良港で、寛永8年(1636年)頃より、佐渡金山の金銀輸送が本格化するにつれ繁栄した。また、寛文10年(1672年)河村瑞賢によって、西回り航路の寄港地に指定されたことにより、来航船舶も一層増加し、佐渡第一の港となった。当時は、北陸・山陰・山陽をはじめ、奥羽・北海道諸港からの商船が来航し、島内流通の貨物の集散地として繁栄した。又、対岸越後との交通は主として出雲崎港との間に航路がとられ、当時の佐渡奉行の渡海や金銀塊の輸送に利用されていた。

本港は、直江津港との生活航路に加え、佐渡観光の拠点港として、両津港とともに主要な役割を担い、逐次整備が進められてきた。昭和49年(1974)には、重要港湾の指定を受けるとともに、新たに港湾計画も策定され、本格的な整備が開始された。昭和60年(1985)には旅客ターミナルが完成し、また、平成5年(1993)にはフェリーの大型化に対応したフェリーふ頭が供用開始するなど、佐渡の南の玄関口としての整備が進められてきている。この間、本土側的高速交通体系の整備に伴い、平成25年(2013)の乗降客数は約16万人となっている。

現在の直江津港との間の定期航路は、昭和に入った後、対岸の鉄道拡張に伴って開設されたものであり、平成27年(2015)4月から新造船「あかね」が就航している。

一方、羽茂地区は、平成10年(1998)に小木港と合併したが、江戸時代には、大阪方面への米の積み出し港として、また、鉄の移入やそれを原料とした稲こぎ千歯の移出で越後や出羽への交易の中心港として発展した。明治に入ると地の利を生かした味噌産業が発展し、一時期は取扱貨物量においては、新潟、両津、直江津の港について県下4位を占め、産業港湾として活況を呈していた。

小木港は、平成9年(1997)に平成20年(2008)代前半を目



上 = 小木港、下は同羽茂地区

標年次として港湾計画を改訂しており、佐渡観光の玄関口にふさわしい賑わいと潤いのある港湾空間の形成のため、フェリーを中心とした人流機能と物流機能を適切に分離し、機能強化を進めていくこととしている。

小木港周辺は、矢島・経島などの名勝地を有する佐渡弥彦米山国定公園に指定されており、近接して美術館や海運資料館などの文化施設がある他、毎年さざえ祭りやアースセレブレーション(国際音楽祭)などのイベントなどに利用される城山公園があるなど、景観・観光資源に恵まれた地域である。港内においても観光船が就航したり、一部水域がたらい船遊覧に利用されるなど、周辺の観光資源と一体となった空間の利用が図られている。

さらに、フェリー航路で結ばれている対岸の直江津港背後においては、既存の高速道路に加えて、平成27年(2015)3月に北陸新幹線が開業したほか、令和6年(2024)7月に「佐渡島(さど)の金山」の世界文化遺産登録が決定し、今後、さらなる観光客の増加と観光拠点港としての発展が期待されている。

また、羽茂地区においては、近年、砂・砂利・石材等やセメントなどを取り扱い、佐渡南西部の流通港として大きな役割を果たすことが期待されている。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船								
内航商船	11	44,413						
自航	363	901,329						
その他	55	1,045						
合計	429	946,787						

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船								
内航商船	11	44,413						
自航			363	901,329				
その他							55	1,045
合計	11	44,413	363	901,329			55	1,045

最大入港船舶のトン数 総トン(喫水 m)

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	914	100.0	894	97.8					1	0.1
移入	8,841	100.0	16	0.2	1	0.0			13	0.1
計	9,755	100.0	910	9.3	1	0.0			14	0.1
合計	9,755	100.0	910	9.3	1	0.0			14	0.1

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	1	0.1	6	0.7			12	1.3		
移入	8,662	98.0	1	0.0	3	0.0	144	1.6	1	0.0
計	8,663	88.8	7	0.1	3	0.0	156	1.6	1	0.0
合計	8,663	88.8	7	0.1	3	0.0	156	1.6	1	0.0

太字は自動車航走船取扱貨物(外数)で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	57,950	29,07	28,879
計	57,950	29,07	28,879

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用面積 (㎡)	
北南地区											
南ふ頭	南岸壁	4.5	60	700	1						
北ふ頭	1号岸壁	6.5	170	G/T 4,000	1				} 1	542	その他食料工業品
	2号岸壁	7.5	200	G/T 6,000	1						フェリー
	3号岸壁	5.5	100	2,000	1						その他食料工業品
中央ふ頭	2号岸壁	5.0	137	1,000	1						石材
	3号岸壁	5.0	120	1,000	1						
羽茂地区											
中央ふ頭	1号岸壁	4.5	60	G/T 1,000	1						
	2号岸壁	5.5	100	2,000	1						
西ふ頭	1号岸壁	4.5	70	G/T 1,000	1						セメント
	2号岸壁	5.5	90	2,000	1						石材
	3号岸壁	7.5	130		1						セメント

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場		29,226㎡
普通倉庫		
1～3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
-	-

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	4,346
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

区分 名称	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
北ふ頭緑地	2,432		休息緑地	昭和63年度		
〃	1,307		緩衝緑地	平成6年度		
〃	1,548		〃	平成7年度		
〃	5,520		〃	平成8年度		
小木おけさ公園	6,617			平成15年度		
城の腰公園	1,879			平成16年度		
大橋緑地(羽茂地区)	7,358			平成13年度		

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

該当なし

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
新潟海上保安部佐渡海上保安署	〒952-0011 佐渡市両津夷384番地1	0259-27-0118
新潟県佐渡地域振興局地域整備部 (港湾空港)	〒952-0014 佐渡市両津湊198 佐渡島開発総合センター2階	0259-27-3311

